

マモリンレポート

「地域の絆」で特殊詐欺を防ぐ 特殊詐欺水際阻止協力の店(家)



携帯電話で通話しながらATMを操作する高齢者等を発見した場合には声掛けを行い、警察へ通報してもらう「特殊詐欺水際阻止協力の店(家)」の運用を開始しました。

協力の店(家)への登録をお願いしたい方

- ATMが設置されている施設(金融機関、コンビニエンスストア、商業施設等)
- ATM設置場所の近隣に所在する店舗及び事業所
- ATM設置場所の近隣に居住する住民
- その他、特殊詐欺の被害防止に協力いただける店舗等



お願いしたいこと

協力いただける店舗等に対しては、「特殊詐欺水際阻止協力の店(家)」であることを表示するステッカーと活動マニュアルをお渡した上で、以下の協力をお願いしています。

- 「ひょうご防犯ネット」の専用カテゴリへの登録等により、地域の特殊詐欺関連情報を受信
- 予兆電話等発生時における近隣のATM設置場所の状況確認
- 特殊詐欺の被害が疑われる利用者への声掛け
- 警察への通報等



「地域の絆」で特殊詐欺の被害を防ぎましょう。ご協力をよろしくお願いいたします!



発行：ひょうご地域安全まちづくり推進協議会事務局
〒650-8567
神戸市中央区下山手通5-10-1 兵庫県県民生活部生活安全課内
電話(078)362-3173 FAX(078)362-4465

ひょうご地域安全まちづくり推進協議会とは

犯罪の防止その他安全で快適な暮らしを目指すための県民運動を推進し、犯罪のない安全で安心な兵庫県を実現するため、地域団体をはじめ、事業者や行政機関等で構成された協議会です。
(このマモリンレポートは、当協議会の会員である兵庫県遊技業協同組合の支援を得て作成しました。)



安心して住める大町を目指して

大町自治会防犯パトロール隊(赤穂市)



花里の安全安心のために

花里小学校地区自治協議会 見守りたい(伊丹市)





安心して住める 大町を目指して

～大町自治会防犯パトロール隊～

危険箇所をゼロに



登下校の時間帯には、信号のない交差点等の危険箇所に防犯パトロール隊が立ち、あいさつ運動や横断歩道の正しい渡り方などの交通指導を行い、積極的に子どもの見守り活動に取り組んでいます。

防犯パトロール隊では、女性隊員だけの「みやび会」を結成しており、子どもたちと学校から一緒に下校することで、安心できる温かい地域づくりに努めています。

また、地区内には信号のない交差点が多数あり、交通量も多く危険箇所が多いことから、警察や市、小学校と連携して、一時停止線やゾーン30を設置してきました。

危険箇所をなくすために、公園や通学路に防犯カメラを設置していくなど、より一層力を入れた見守り活動をしていくとともに、一人一人の防犯意識も高め、誰もが安心できる大町にしていきたいです。



安心できる町づくり

高齢者が被害になりやすい特殊詐欺被害防止の街頭キャンペーンでは、警察や防犯協会と協力して声かけを行い、特殊詐欺に関する情報が入れば、防災無線を活用して誰一人として被害にあわないように注意を呼びかけています。

一人暮らしの高齢者の方も安心して生活ができるように、民生委員や関係機関に協力を求めて情報交換をしたり、災害など緊急事態に備えられるように情報共有ができる場も設けています。

また、近年のコロナ禍による行動制限の中、子どもたちに思いっきり楽しんでほしいという思いから、子どもも大人も楽しめるイベントとして、ヨーヨー釣りや福引き、じゃんけん大会を行う「ふれあいの会」を開催したり、いざという時に対応できるよう南海トラフ地震などの自然災害に備えた訓練を地域全体で行っています。



グループの紹介

平成18年4月に結成し、児童の安全を守るために一時停止線やゾーン30を設置するなど、積極的に防犯活動を行っています。

このような活動が評価され、「令和3年度まちづくり活動賞」を受賞しました。



花里の 安全安心のために

～花里小学校地区自治協議会 見守りたい～

地域の子どもは地域で守る

平成13年、大阪教育大学附属池田小学校で発生した無差別殺傷事件を受けて、「地域の子どもは地域で守らねば」という強い思いから、平成14年に見守りたいが誕生しました。

登下校の時間帯において交通量の多い場所を中心に、現在は28名の見守りたい員が「子どもたちの安全・安心のため」という気持ちで活動を行っています。

新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う分散登校の際には、見守り活動を中止することなく、子どもたちが早く日常生活を取り戻して安心できるようにと、分散登校の時間に合わせて見守り活動を継続しました。

子どもたちからエネルギーをもらうことも多く、子どもたちの見守りに対するお礼の言葉には、ボランティアの立場ですが嬉しく励みにもなっています。



ながら見守り活動の推進

最近では、「ながら見守り活動」を推進しています。

井戸端会議や犬の散歩、花の水やりをしながらなど、登下校の時間帯だけでなく、公園で遊んでいる子どもたちの安全や、学校の時間帯に公園にいる子どもへの声かけ、様々な視点から防犯意識を持つように心がけています。

そのような活動をする中、私たち見守りたい員自身が事故や危険な目に遭わないことにも十分気をつけています。

また、子ども一人一人の健康や心のケアにも気を配り、登校をためらう子どもを迎えに行ったり、学校に行きたい気持ちにさせたり、登校支援や小学校へ情報提供するなど、小学校と連携しながら子どもたちの健全育成にも寄与しています。



グループの紹介

平成14年の発足以降、花里校区の子どもたちが安全に安心して登下校できるように、見守りたい員全員が「子どものために」と一生懸命に毎日見守り活動を実施しています。

このような活動が評価され、「令和3年度まちづくり活動賞」を受賞しました。

